

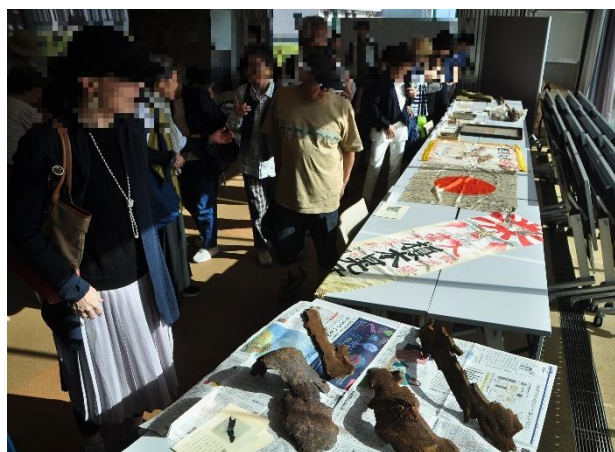
令和7年度 武蔵野市非核都市宣言平和事業の記録



憲法月間記念行事講演会
講演「ドラマ作りから見た憲法のお話」



夏季平和事業
パネル展



夏季平和事業
戦争資料展示



平和の日イベント
青少年平和交流派遣団報告
ライブ ユキヒロ氏

武蔵野市 非核都市宣言平和事業実行委員会

平和の日メッセージ

昭和 19 (1944) 年 11 月 24 日、武蔵野市が初めて空襲を受けてから、81 年が経ちました。

当時この地には、ゼロ戦などの戦闘機のエンジンを製造していた中島飛行機武蔵製作所という軍需工場がありました。この工場は東洋一と言われるほど大規模で、米軍による本格的な本土攻撃の第一目標となりました。終戦までに空襲は 9 回を数え、工場関係者 200 名以上が犠牲となり、周辺地域でも多くの住民が巻き添えとなりました。

武蔵野市では、この空襲で犠牲になられた方々に哀悼の意を表するとともに、戦争の記憶を継承し、平和の尊さを次世代につないでいくために、平成 23 (2011) 年に武蔵野市平和の日条例を制定し、初空襲のあった 11 月 24 日を「武蔵野市平和の日」と定めました。

武蔵野市平和の日条例の前文には、「市民とともに国際相互理解を推進し、恒久平和の実現を目指すことを誓う」とあります。

令和 7 (2025) 年は、先の大戦の終結から 80 年を迎える節目の年でもあります。8 月には、若い世代の平和交流を目的として、長崎に青少年平和交流派遣団を、広島に多摩地域 26 市平和ユース生を派遣しました。

これからも貴重な記憶を風化させず、未来へつないでいくため、今後も若い世代に武蔵野の空襲の歴史や戦争体験の記憶を継承しながら、「戦争も核もない世界を武蔵野から」を掲げ、戦争の悲惨さ、平和の尊さを伝えていく活動を市民の皆様とともに取り組んでまいります。

令和 7 (2025) 年 11 月 24 日 武蔵野市長 小美濃安弘

ま え が き

武蔵野市議会では、昭和 57 年 3 月 29 日に非核都市宣言を行いました。

平成 19 年には、その宣言から 25 年を迎えたことを機に、地域・平和団体、大学生、公募市民などで構成する非核都市宣言 25 周年記念事業実行委員会が設置され、翌 20 年に現在の「非核都市宣言平和事業実行委員会」となり、それ以降、写真パネル展や映画上映会、講演会、子ども向けイベントの企画・運営など様々な平和啓発事業を実施してまいりました。また、平成 23 年には、中島飛行機武蔵製作所が初めて空襲を受けた 11 月 24 日を「武蔵野市平和の日」とする条例が制定されました。

令和 7 年度は、実行委員会とともに行った憲法月間記念行事、夏季平和事業、平和の日イベントに加え、青少年平和交流派遣事業の実施や子ども向けリーフレット「武蔵野のまちにのこる戦争のはなし」の作成、三鷹市と共同での平和特設サイトの開設、多摩 26 市共同での平和サミットの開催等、戦後 80 年事業を実施しました。

戦争体験者の高齢化により、直接戦争体験のお話をうかがう機会も少なくなっています。一方、平和をめぐる世界情勢の不安定化、市民の生活環境の変化等があるなかで、さまざまな平和関連イベントを通して、次世代へ戦争の悲惨さと平和の尊さを語り継ぎ、平和への意識を高めてまいります。

本書は、令和 7 年度に行われた非核都市宣言平和事業の記録集です。

目 次

I 令和7年度 武蔵野市非核都市宣言平和事業の実施状況

- 1 憲法月間記念行事・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 夏季平和事業『戦争も核もない世界を武蔵野から』・・・・・・・・ 1
- 3 平和の日イベント『戦争も核もない世界を武蔵野から』・・・・ 3
- 4 実行委員会の開催状況・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 5 委員名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

II 令和7年度武蔵野市非核都市宣言平和事業実行委員会に

- 参加した実行委員からのメッセージ・・・・・・・・・・・・ 6

I 令和7年度 武蔵野市非核都市宣言平和事業の実施状況

1 憲法月間記念行事

(1) 憲法月間記念行事作品募集

内 容：書道、イラスト・絵手紙

応募状況：書 道 171 点 うち優秀賞 2 点、入選 16 点

絵手紙 32 点 うち優秀賞 2 点、入選 3 点、実行委員会賞 1 点

表 彰：5 月 10 日（土）記念行事にて、優秀賞 4 名を表彰

展 示：①市役所ロビー 4 月 24 日（木）から 5 月 7 日（水）（全作品）

②スイングホールロビー 5 月 10 日（土）（入賞作品のみ）



（優秀賞作品 4 点）

(2) 憲法月間記念行事講演会

日 時：5 月 10 日（土）午後 1 時 30 分から午後 4 時まで

場 所：スイングホール

内 容：憲法月間記念作品優秀賞 表彰式

講演「ドラマ作りから見た憲法のお話」

講師 吉田 恵里香 氏

参加者：102 名（申込者 149 名）

(3) 横断幕の掲出

内 容：「憲法を学びみんなでつくろう平和な暮らし」の掲示

日 時：5 月 1 日（木）から 30 日（金） 市役所

2 夏季平和事業 『戦争も核もない世界を武蔵野から』

(1) 写真パネル展の開催（協力：武蔵野けやき会・武蔵野の空襲と戦争遺跡を記録する会）

内 容：広島・長崎の原爆、武蔵野の空襲と中島飛行機

①市役所ロビー

日 時：7 月 30 日（水）～8 月 6 日（水）午前 8 時 30 分～午後 5 時

（土日祝除く、最終日は正午まで）

②吉祥寺駅南北自由通路はなこみち

日 時：8月2日（土）午前10時～午後4時

③武蔵野プレイスギャラリー

日 時：8月14日（木）～19日（火）午前9時30分～午後10時

（2）映画上映会の開催

内 容：映画「あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。」上映会
武蔵野市の平和施策に関する説明
戦争関連資料展示

日 時：8月16日（土）午後1時30分～4時

場 所：武蔵野プレイス4階フォーラム

参加者数：83名（申込者225名、当選者131名）

（3）絵本朗読と講演の開催

内 容：谷川俊太郎の絵本の朗読会
作品：「へいわとせんそう」、「生きる」、「ともだち」
戦争関連資料展示

出 演：高田友紀氏

日 時：8月17日（日）午後1時30分～3時

場 所：武蔵野プレイス4階フォーラム

参加者数：39名（申込者51名）

（4）横断幕の掲出

内 容：「戦争も核もない世界を武蔵野から
世界連邦に関する宣言 非核都市宣言 宣言自治体 武蔵野市」

日 時：8月1日（金）から29日（金） 市役所、市内3駅前

（5）市民から寄せられた戦争関連資料展示（協力：延命寺）

内 容：防空頭巾や爆弾の破片、のぼり旗など

日 時：8月1日（金）から29日（金）市役所正面玄関ショーウィンドー

（6）市報での特集

掲載場所：市報8月1日号1面

掲載内容：戦後80年

映画上映会、絵本朗読、パネル展の告知、戦争関連資料展示
黙とうのお願い

3 平和の日イベント 『戦争も核もない世界を武蔵野から』

(1) 内 容：武蔵野の空襲と中島飛行機（協力：武蔵野の空襲と戦争遺跡を記録する会）

①吉祥寺駅南北自由通路はなこみち

日 時：11月8日（土）午前10時～午後4時

②武蔵野プレイスギャラリー

日 時：11月11日（火）～18日（火）午前9時30分～午後10時

③市役所1階ロビー

日 時：11月21日（金）～28日（金）午前8時30分～午後5時

(2) 横断幕の掲出

内 容：「平和への願いを込めて 11月24日は武蔵野市平和の日です。」

日 時：11月4日（火）～28日（金） 市役所、市内3駅前

(3) 市民から寄せられた戦争関連資料展示（協力：延命寺）

内 容：鉄カブト、入営祝いのぼり旗、遺族に贈られた証書等

日 時：11月4日（火）～28日（金）市役所正面玄関ショーウィンドー

(4) 市内各コミセンなどにおけるミニミニ空襲パネル展

内 容：中島飛行機武蔵製作所と武蔵野の空襲

場 所：西部コミセン、御殿山コミセン、吉祥寺東コミセン、緑町コミセン

(5) 図書館での中島飛行機や戦争、平和に関する図書の設置

（協力：公益財団法人武蔵野文化生涯学習事業団）

中央図書館、吉祥寺図書館、武蔵野プレイス

日 時：11月10日（月）～11月30日（日）

(6) 平和の日イベント 講演会

日 時：11月24日（月・振休）午後1時30分から午後4時まで

場 所：スイングホール

内 容：①青少年平和交流派遣団と多摩地域平和ユース参加者の報告

②ライブ ユキヒロ 氏

参加者：78名

4 実行委員会の開催状況

	日 時	主 な 内 容
第1回	4月22日(火)	実行委員会の運営、実行委員長の選出について
第2回	5月30日(金)	憲法月間記念行事、夏季平和事業、研修会について
第3回	7月1日(火)	夏季平和事業、平和の日イベント、研修会について
第4回	7月22日(火)	夏季平和事業、平和の日イベント、研修会について
第5回	9月9日(火)	夏季平和事業、平和の日イベントについて
研修会	9月14日(日)	丸木美術館(埼玉県東松山市)
第6回	10月21日(火)	平和の日イベントについて
第7回	12月15日(月)	平和の日イベント、憲法月間記念行事について
第8回	令和8年1月13日(火)	憲法月間記念行事について
第9回	2月25日(水)	憲法月間記念行事について
第10回	3月31日(火)	憲法月間記念行事について、1年間の振り返り、市関連施設におけるイベント日程及び場所

令和 7 年度 武蔵野市非核都市宣言平和事業実行委員会 委員名簿

選出分野	氏名	団体名
市民団体	大上 茂雄	武蔵野市コミュニティ研究連絡会
	山崎 高志	武蔵野市立小中学校 P T A 連絡協議会
	杉田 昇 (～R 7 . 7) 岩崎 一夫 (R 7 . 8 ～)	武蔵野市老人クラブ連合会
大学生	大野 彩乃	市内在住
	根本 紬	市内在住
	林 健心	市内在住
平和関連団体	牛田 守彦	武蔵野の空襲と戦争遺跡を記録する会
	中里 崇亮	武蔵野市世界連邦運動協会
	木岡 紀久代 (～R 7 . 9) 松田 隆夫 (R 7 . 10 ～)	武蔵野けやき会
	田村 恭子	武蔵野市国際交流協会
公募委員	北山 征一	市内在住
	猿渡 彰	市内在住
	高橋 智香	市内在住
	谷口 広樹	市内在住
	横山 耕平	市内在住
戦争体験者	島津 好江	市内在住

Ⅱ 令和 7 年度武蔵野市非核都市宣言平和事業実行委員会に 参加した実行委員からのメッセージ

武蔵野市コミュニティ研究連絡会 大上 茂雄

地域活動で知り合った方から誘っていただいて何度かこの実行委員をしています。平和、戦争、歴史、自分の中では学んで来なかったことなので、みなさんに学びながらこの活動を広めることができたらいいなと思っています。学びという点では、今年度は丸木美術館への研修に行けたのも良かったです。アートの伝える力を感覚で再確認させてもらいました。

委員会の事業では学生委員さんのアイデアがイベントで形になったのが良かったです。若い世代の活躍が頼もしいです。一方で、SNS では面と向かって口では言えないような恐ろしい書き込みで溢れています。さまざまな形態とさまざまな世代で伝えていかないと感じます。

武蔵野市市立小中学校 P T A 連絡協議会 山崎 高志

多くの人々の平和に対する思いに触れることができた一年であった。大学生にも参加していただき、積極的な発言が相次ぎ、委員会は非常に活気あるものとなった。また、他の委員から多様な資料の提供を受け、自身の理解も深まり、大変有意義な機会となった。今後も武蔵野市の平和事業に注目していきたいと考えている。一方で、平和に関心を持つ人々の集まりの中に憲法に関するイベントを含めることには、やや違和感を覚えた。ここは今後の課題と思います。

武蔵野の空襲と戦争遺跡を記録する会 牛田 守彦

本年度は「戦後 80 年」という節目の年であり、例年にも増して平和の大切さを考える機会とする種々の取り組みが行えたことを喜びたいと思います。世界に目をむけると明日が見通せない厳しい現実と直面しています。日本も決して安心といえる状況ではなく、熊の出没、山火事など、東京一極集中とは対照的に、地方では社会基盤を脅かす問題が噴出しています。平和とは憲法 9 条だけでなく、13 条や 25 条から考えなければならないと強く思う今日この頃です。

今年度、若い人たちに発案が企画に生かされたことが一番良かったことだと思います。今後につながることを願っています。ありがとうございました。

武蔵野市国際交流協会 田村 恭子

「戦争も核もない世界を武蔵野から」という平和を希求するスローガンを掲げた武蔵野市という場所で、数々の活動の機会を頂けたことに心から感謝しています。戦争体験をされた先輩委員さんが未来のために、平和の尊さを教え続けて下さった熱意、お言葉を今後も決して忘れません。

委員のお仲間の皆さん、事務局の方がた、そして心から平和を願い、イベント参加者として平和づくりを支えて下さった全ての方がたに、心より感謝申し上げます。これまで長いあいだ、本当にありがとうございました。

公募委員 北山 征一

令和 7 年度の公募委員の任期を今年も終えて、ふり返ると、決められたイベントへの参加、その前の準備とかに追われ、自分の体調とか「仕事」とかに、何とか参加しようとしたこの一年でした。公募も最近では連続して選ばれていますが、一年のイベント中心のお手伝いや、平和への啓蒙をしたつもりです。

平和事業実行委員の研修は、今年度は「丸木美術館見学」でしたが、これに参加できたことは、一番良かった事でした。ここには、たしか第一回の研修で行ったのですが、改めて丸木さんたちの偉大さを実感し、改修後の館にも行きたくなりました。来年度も選ばれたら、少しでもお役に立つよう尽力したいものです。

公募委員 猿渡 彰

令和 5 年度を一年間やらせていただいた後、令和 6 年度は参加せず 7 年度改めて参加させていただきました、5 年度に参加した結果、他の委員の方々のリベラル色が強いと感じ 6 年度は参加しませんでした。

私は公費つまり税金を元に活動する以上、保守リベラルの意見が対立するような活動はするべきでは無いと考えています、講師を招くような場合その先生意見が多少どちらかに寄る場合があるのはやむをえませんが、出来るだけ中立的サジェスションに止めるべきと考えます。

以上の点を考えますと 7 年度は概ね成功だったようです。ただ動員力の弱い出演者をお呼びした企画は実質 40 人ほどの聴衆では失敗と言わざるをえません。これに関して X のフォロワー数など選考段階で確認すればその場で分かった事ですので確認しなかった私にも責任があると考えます。

大学生委員 大野 彩乃

一年間という短い期間ではありましたが、委員として活動に携わる中で、平和について考えたり、人と話したりする機会が日常的に増え、平和とより深く向き合うことができました。

また、大学生という立場から、平和事業の企画や実施に関わり、若者ならではの視点を生かして新たな提案を行うことができたと感じています。

今後も平和について考え続けるとともに、より多くの人と対話を重ねながら、平和について考える輪を広げていきたいです。

大学生委員 根本 紬

今年度、大学生委員として初めて平和事業実行委員会に参加しました。毎回の会議や平和事業、中高生とともに参加した長崎への派遣事業を通して、たくさんのことを学び、貴重な体験をさせていただきました。武蔵野市と戦争について知り、戦争の悲惨さや平和の尊さを伝える活動ができたことは、とても価値のある時間だったと感じています。どうしても戦争や平和というと、どこか遠い話のように感じてしまいましたが、これからは他人事ではなく自分事として捉え、考えていきたいです。一年間ありがとうございました。平和

について見識を深めていければと思います。

大学生委員 林 健心

戦後 80 年を迎え、戦争経験者の高齢化が進み、若者が平和の尊さを受け継ぐ「大切な年」となっていると考え、私はその「市の代表」としてこの委員会に参加させていただきました。

参加した当初は、分からないことだらけでした。

「若者が平和の尊さについて考える」と言いつつ、会議でどのような意見を出せばよいか分からず、悩んだこともありましたが、皆さんの意見を伺いながら、だんだんと自分なりの視点から様々な意見を出せ、平和の日イベントの企画会議では、自分が企画したものが実現に至ったこともあり、成長を感じたと思います。

また実際に研修では、サポーターでありながらも、グループワークで平和について考える時間があり、それぞれの違いを見つけたり、世の中にはいま何が求められているのかを考えたりなど、より深く平和について考える機会もあり、大変満足したものとなりました。

話し合いの中では、笑う場もあり、それこそが何よりも一番の平和なのではと感じました。今回の委員会を通し、学んだことを今後の大学生活や日常生活などの糧に活かしていきたいと思っています。

結びになりますが、この度は大学生委員として、この素晴らしい委員会に参加できたことに感謝申し上げます。

武蔵野市非核都市宣言平和事業実行委員会、大好きです。

これまでの活動の思い出は、一生忘れられません。

武蔵野市非核都市宣言

戦争の惨禍を防止し、恒久平和を実現することは、全人類が切実に念願するところである。

核兵器保有国間で核軍拡競争が激化している今日、とりわけ核戦争を回避し、原水爆の恐れのない世界を確立することは、緊急かつ重大な課題である。

武蔵野市は、平和を希求する世界連邦に関する宣言都市として、人間が人間を滅ぼす危険を防ぎ、人類永遠の平和を樹立するため、非核三原則の完全実施を願い、最大限の努力を傾注するものである。

ここに、われわれは、平和のために貢献する決意を表明するとともに、武蔵野市が非核都市となることを宣言する。

昭和 57 年 3 月 29 日

武蔵野市議会

世界連邦に関する宣言

武蔵野市は、世界の恒久平和と人類永遠の繁栄を保障する世界連邦の建設に同意し、武力国家の対立を解消して、英知と友愛に基づく世界の新しい秩序の実現を希求する。人類最初の原爆被災国として、また戦争放棄を憲法に明記した国として提唱し得る最適の立場にあることを確信し、この宣言を行ない、他の宣言都市と相携えて、世論を喚起し、これを国政に反映せしめ、速やかに国家宣言を行うと共に、進んで現行の国連憲章の改正により世界連邦の実現を期するものである。右宣言する。

昭和 35 年 6 月 28 日

武蔵野市議会



令和7年度

武蔵野市非核都市宣言平和事業の記録

発行 令和8年7月

武蔵野市非核都市宣言平和事業実行委員会

武蔵野市市民部市民活動推進課内

武蔵野市緑町2丁目2番28号

電話(0422)60-1829 (直通)